

# ハーモニー

Harmony

第80号 2019年9月10日発行  
日本養護教諭教育学会

Japanese Association of Yogo Teacher Education

日本養護教諭教育学会

事務局：〒448-8542

刈谷市井ヶ谷町広沢1  
愛知教育大学養護教育講座  
後藤研究室

TEL&FAX 0566-26-2491  
振替口座：00880-8-86414

<http://www.yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp>

## 目次

第27回学術集会（神奈川県横浜市）のお誘い……1	2019年度研究助成金研究の進捗状況（報告）……6
第27回学術集会プログラム……2	特別企画「新・私の実践と研究」②……6
第27回学術集会プレコンgressのご案内……5	学会誌への投稿募集……7
2019年度総会の告示……5	日本養護教諭関係団体連絡会の 2019年度の活動状況について（報告）……8
第27回学術集会での「投稿奨励研究」の推薦について……5	事務局より……8
第27回学術集会での 「2018年度研究助成金研究」発表のご案内……6	編集後記……8

### 第27回学術集会（神奈川県横浜市）のお誘い

学会長 鈴木裕子（国土館大学）

災害や事故の話題が絶えない昨今、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。横浜で開催する第27回学術集会が近づいてまいりました。学術集会へのお誘いと企画紹介をさせていただきます。

メインテーマは「みらいにつなぐ養護教諭のアイデンティティー—新時代の学校教育に生きる実践理論の創造—」。AIやロボットなどの先端技術が一段と進化し人にとって代わる近未来は、もはやSFの世界ではありません。この新時代に学校教育や養護教諭の仕事はどう変化していくのでしょうか。本学術集会を通して、時代が変わっても生き続ける養護教諭の本質やその実践について共に考える機会にしたいと考えております。

初日（10月12日）は、開会に先立ち午前10時から理事会主催プレコンgressを行います。本学会「養護教諭の倫理綱領」第13条における「養護実践基準」について事例をもとに考えます（自由参加）。学術集会は正午からの学会長講演「養護教諭はどこに向かおうとしているのか」を皮切りに、特別講演、シンポジウムと続きます。特別講演「AI時代がやってきた！—消える仕事・生き残る仕事—」では、講師にNHK Eテレ「サイエンスZERO」の司会や「ひろおび」コメンテーター等でご活躍のサイエンス作家竹内薫さんをお迎えし、AIをはじめとする最先端の科学技術とこれからの教育についてご講演いただきます。シンポジウムでは、三人三様の立場・視点からとらえた養護教諭の姿を語っていただき、そこを糸口にメインテーマに迫ります。充実した討論のために本会として初め

てディスカッサント（討論者）をお願いしました。会員の皆様もぜひ積極的に議論にご参加ください。その後は理事会より学会事業報告（養護実践基準に関する検討報告）を行います。そして懇親会にご参加の方は会場から徒歩7分の「東天紅」（桜木町ワシントンホテル24階）に移動です。中華バイキングと共に横浜の夜景もお楽しみください。

2日目（10月13日）は、1日目のホールの前にそびえる横浜ランドマークタワー25階が会場。午前中は一般演題（口演16題、ポスター18題）の発表です。ポスター会場の窓いっぱい広がる港の景色もお楽しみに。また学会助成金研究「肢体不自由特別支援学校養護教諭の養護実践にみる専門性の検討」の報告も同時間帯で行います。続く総会の後、昼食時は、協賛企業によるランチョンセミナー（2会場）を行います。お弁当を召しあがりながらご聴講ください。午後は課題別セッション「オйкаワヒロコ先生と健康教育について語ろう！」「悩んでいませんか？先生たちとのコミュニケーション」の2題を企画しました。グループワークを通して交流を深めていただければ幸いです。なおランチョンセミナーと課題別セッションは、当日受付にて整理券を配付します。

この日、横浜国際総合競技場ではラグビーワールドカップ（日本 vs. スコットランド）、赤レンガ倉庫ではオクトーバーフェスト、山下公園ではワールドフェスタ、市内各所でJAZZプロムナードなど様々な催し物が目白押し。街なかの混雑も予想されますが、どうぞ横浜での秋の一日もお楽しみいただいております。多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。

日本養護教諭教育学会 第27回学術集会プログラム

メインテーマ「みらいにつなぐ養護教諭のアイデンティティ

—新時代の学校教育にいきる実践理論の創造—

期 日：2019年10月12日（土）12：00～13日（日）15：15

会 場：（1日目）はまぎんホール ヴィアマーレ

（2日目）TKPガーデンシティPREMIUM横浜ランドマークタワー

《2019年10月12日（土）》 9：40～受付

はまぎんホール ヴィアマーレ

◇プレコングレス（10：00～11：15）「養護実践基準について語り合う」…………… 理事会

◇開 会（12：00）

◇学会長講演（12：05～12：55）…………… 座長 古賀由紀子（九州看護福祉大学）  
「養護教諭はどこに向かおうとしているのか」…………… 鈴木 裕子（国士舘大学）

◇特別講演（13：00～14：00）…………… 座長 松永 恵（編集委員会委員長・茨城キリスト教大学）  
「AI時代がやってきた！ —消える仕事・生き残る仕事—」…………… 竹内 薫（サイエンス作家）

◇シンポジウム（14：15～16：30）

「新時代につながる養護教諭の実践とアイデンティティを検証する」

コーディネーター 山崎 隆恵（北海道教育大学札幌校）

大津留幸子（横浜市学校保健アドバイザー）

シンポジスト 山本 敬一（東山書房「健康教室」編集長）

山川 伸二（横浜市立南瀬谷中学校校長）

後藤 里美（神奈川県立厚木東高等学校総括教諭（養護教諭））

ディスカッサント 後藤ひとみ（愛知教育大学学長）

◇学会事業報告（16：40～17：15）

「養護教諭の倫理綱領」第13条における養護実践基準の検討について（中間報告：第3報）…………… 理事会

◇懇親会（18：30～20：00）「東天紅」（横浜桜木町ワシントンホテル24階）

《2019年10月13日（日）》 9：10～受付

TKPガーデンシティPREMIUM横浜ランドマークタワー

◇口演発表 A会場（9：30～10：49）

＜保健管理に関する養護実践＞…………… 座長 小林 央美（弘前大学）

O-A-1 養護教諭の行う校内巡視と種々の要因との関連について ○長瀬 仁美（岐阜県立看護大学）他

＜原論・歴史＞

O-A-2 国際化・多様性の中で養護学のコアを考える

—第20回国際スクールナース学会（スウェーデン2019）と日本開催に向けて—

○鎌田 尚子（女子栄養大学名誉教授）他

O-A-3 倫理綱領における養護実践の省察—省察のために学会提案の「養護実践基準」は、必要かどうか—

○鎌田 尚子（女子栄養大学名誉教授）他

＜保健室経営に関する養護実践＞…………… 座長 河田 史宝（金沢大学）

O-A-4 複数配置校における養護教諭同士の人間関係と「仕事ぶり」との関連 ○宮慶美恵子（花園大学）

◇研究助成金研究発表 A会場 (10:50~11:20).....座長 河田 史宝(金沢大学)  
「肢体不自由特別支援学校養護教諭の養護実践にみる専門性の検討」 ○野田 智子(埼玉医科大学)他

◇口演発表 C会場 (9:30~11:29)

<現職教育>.....座長 塚原加寿子(新潟青陵大学)

- O-C-1 養護教諭の育成指標の検討と養護教諭の研修に対する意識の現状  
~養護教諭の育成指標とそれに基づく現職研修プログラムモデルの開発に関する調査報告~  
○平川 俊功(東京家政大学)他
- O-C-2 教員育成指標における新規採用養護教諭研修の実態調査と課題一校内研修を中心に一  
○吉田 民枝(広島国際学院大学)他
- O-C-3 学校保健関係者との連携・協働を目的とした養護教諭のリーダーシップ行動  
一養護教諭の自己評価の分析結果から一 ○後藤多知子(愛知みずほ大学・大学院)他

<健康相談に関する養護実践>.....座長 沼田 伊里(神奈川県立総合教育センター)

- O-C-4 健康相談における養護教諭特有のコーディネーション行動に関する研究  
一現職者への面接調査から一 ○加藤 尚子(東北大学大学院教育学研究科)
- O-C-5 学校における児童虐待ケースへの対応一養護教諭への半構造化面接調査から一  
○宮井亜裕子(八尾市立曙川中学校)
- O-C-6 保健室での子供との会話を可視化する(第3報)一養護教諭の聴く力の視点から一  
○渡辺 誓代(金沢市立泉小学校)他

◇口演発表 D会場 (9:30~11:29)

<養成教育>.....座長 斉藤ふくみ(関西福祉科学大学)

- O-D-1 看護学VI(臨床実習)で学生は、養護教諭としてどんな学びをしたか  
一実習評価表の採点とその根拠となる記録の分析から見えてきたもの一  
○村松 十和(前帝京短期大学 現名古屋医専)
- O-D-2 養護教諭志望学生の経験過程と自己肯定意識の変化 第3報  
一保健室ボランティア経験と自己評価の関連一 ○貴志知恵子(徳島文理大学)他
- O-D-3 養護教諭志望学生の経験過程と自己肯定意識の変化 第4報  
一保健室ボランティアに参加した学生の活動報告書の分析を通して一  
○竹内 理恵(徳島文理大学)他

<養成教育>.....座長 上村 弘子(岡山大学)

- O-D-4 教職実践演習(養護教諭)の授業において歯科保健展へ参加した学生の学び  
○西岡かおり(四国大学)
- O-D-5 養護教諭養成における歴史教育の意義  
○小林 央美(弘前大学)他

<その他>

- O-D-6 今日の健康教育における性感染症(エイズ)予防教育  
○大野 泰子(鈴鹿大学)

◇ポスター発表 I・II・III B会場 (9:30~11:29)

<原論・歴史>.....座長 稲垣 尚美(湘南医療大学)

- P-I-1 養護教諭の専門性についての検討  
○北口 和美(元大阪教育大学)他
- P-I-2 養護実践におけるマネジメントについての考察一目標設定と組織化の特徴について一  
○古賀由紀子(九州看護福祉大学)

<制度>

- P-I-3 A県立高等学校における養護教諭の全校複数配置に関する一考察  
一教育委員会へのインタビュー調査から一 ○井 美希(横浜高等教育専門学校)他

<養成教育>.....座長 落合賀津子(北里大学)

- P-I-4 学校看護学実習における「医療的ケアルーム」の実習記録の分析から考察した学生の学び  
○米嶋美智子(川崎医療福祉大学)他
- P-I-5 臨床実習における学生の学びについて  
○新沼 正子(安田女子大学)他
- P-I-6 看護系学生の養護実習における保健室来室児童・生徒への対応過程の検討  
○太田 幸雄(城西国際大学)他

<健康教育に関する養護実践>.....座長 丸山 範子(神奈川県立厚木清南高等学校)

- P-II-1 中学生のユーモア志向が学級風土と対人ストレスにおよぼす影響○磯谷 由希(益城町立津森小学校)
- P-II-2 養護教諭が行う保健教育の効果の検証—レジリエンス向上を目指した指導を通して—  
○坂井三代子(愛知県一宮市立南部中学校)
- P-II-3 小学生に行う食物アレルギー教育—小学2年生を中心に— ○菅原 美佳(女子栄養大学大学院)他

<健康教育に関する養護実践>.....座長 瀧澤 裕子(神奈川県立麻溝台高等学校)

- P-II-4 養護教諭が行う食に関する指導の検討—全日制高等学校生徒を中心に—  
○大迫 実桜(女子栄養大学大学院)他
- P-II-5 開発途上国における日本型健康教育プログラムの検証(第2報) ○上原 美子(埼玉県立大学)他
- P-II-6 保健室来室者に対する自律神経機能評価と養護教諭が行う保健教育の効果 ○大川 尚子(京都女子大学)

<保健管理に関する養護実践>.....座長 根本 節子(神奈川県立住吉高等学校)

- P-III-1 漏斗胸の子どもが抱える困難感—学校生活及び自己概念に着目して—  
○進藤 浩子(千葉県立千葉中学校)他
- P-III-2 養護教諭が経験したヒヤリハット事例の背景要因の分析  
○加藤 晃子(学校法人滝学園滝中学校滝高等学校)

<保健組織活動に関する養護実践>

- P-III-3 「通級による指導」を主導する保健組織における高等学校養護教諭の活動内容  
—P D C A サイクルを用いた整理—  
○藤原 瑞穂(東京女子医科大学)

<その他>.....座長 平井 美幸(大阪教育大学)

- P-III-4 発達障害のある子どもとその家族に対するダイバーシティーエフィカシーを高めるための多職種連携教育に向けた基礎的検討—養護教諭と保健師に焦点をあてて—  
○出口奈緒子(筑波大学)
- P-III-5 大学生の認知する家族システムについての考察—コフォート理論の視点から—  
○工藤 明菜(美里町立砥用小学校)
- P-III-6 子供のけがや病気の対応時における異なる職員間で生じる解釈のズレに関する研究  
○加藤木藤子(青山学院大学大学院)

◇総会(11:40~12:40)

◇ランチョンセミナー

- ランチョンセミナー①(12:55~13:40)A会場  
「てんかんは怖くない—楽しい学校生活を送るために先生が知ってほしいてんかんの知識—」  
岡西 徹(聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科主任医長)
- ランチョンセミナー②(12:45~13:40)C会場  
「夜尿症児への教師の関わりとは—学校生活の質の低下を防ぐために—」  
田村 節子(東京成徳大学応用心理学部/大学院心理学研究科 教授)  
「夜尿症が児童の心に与える影響と積極治療の必要性」 池田 裕一(昭和大学医学部小児科学講座 教授)

◇課題別セッション(13:50~15:15)

- 課題別セッション①「オイカワヒロコ先生と健康教育について語ろう!」C会場  
ファシリテーター 及川比呂子(三浦市立初声小学校)
- 課題別セッション②「悩んでいませんか?先生たちとのコミュニケーション」D会場  
ファシリテーター 落合賀津子(北里大学看護学部)

## 第27回学術集会プレコンgresのご案内

学術担当理事 河田史宝 (金沢大学)

本学会における「養護教諭の倫理綱領」第13条における「養護実践基準」に関する検討は、2017年度の学術集会で第1報を、2018年度の学術集会で第2報を報告しています。また、今年度、ハーモニー第79号では、理事会で検討を進めている「養護実践基準(案)」を会員の皆様にお知らせし、貴重なご意見をいただいたところです。

そこで、今回のプレコンgresでは、養護実践基準について、会員の皆様によりご理解いただき活用していただくために、テーマ「養護実践基準について語り合う」を設定致しました。

当日は、養護実践基準について説明したのち、具体的な事例をもとに養護実践基準について考えます。

プレコンgresは、学術集会(コンgres)の活性化を目指して、開催前(プレ)に行われる企画です。「何かを決議する」とか「承認する」などのものではなく、参加者がそれぞれの立場(現職養護教諭、行政、養成機関、学生他)で自由に協議し、学びを深めることができる企画です。

皆様の積極的な参加をお待ち致します。

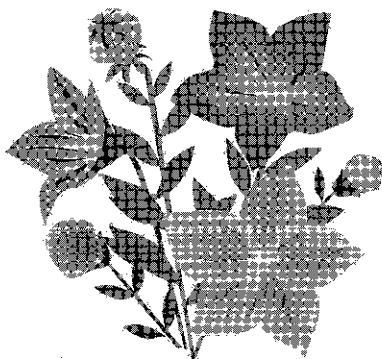
### 第27回学術集会プレコンgres 「養護実践基準について語り合う」

日時 2019年10月12日(土) 10時~11時15分

場所 第27回学術集会

はまぎんホール ヴィアマール

- 事前申込の必要はありません。
- 会員・会員外のどなたでも参加していただけます。
- 第27回学術集会抄録集を用いますので、事前に参加受付をしていただけると幸いです。
- 12時に第27回学術集会を開会しますので、昼食は各自で持参されることをお勧め致します。  
なお、1日目にはランチョンセミナーの予定はありません。



## 2019年度総会の告示

理事長 後藤ひとみ (愛知教育大学)

下記の日程で、2019年度総会を開催します。

欠席される方は、同封しました委任状ハガキに切手を貼付し、10月5日(金)必着にて事務局へお送りください。

☆日時: 2019年10月13日(日)

11時40分~12時40分

☆場所: TKPガーデンシティ PREMIUM  
横浜ランドマークタワー A会場

- ☆議題:
1. 2018年度事業報告
  2. 2018年度決算・監査報告
  3. 2019年度事業経過報告
  4. 2019年度補正予算審議
  5. 2020年度事業計画
  6. 会則実施細則の一部改正
  7. 投稿規定の一部改正
  8. 2020年度予算審議
  9. 研究助成金研究の選定
  10. 選挙管理委員会委員の選定
  11. 第29回学術集会(2021年)の開催地
  12. その他

### 第27回学術集会での 「投稿奨励研究」の推薦について

学術担当理事 今富久美子(神奈川県立上矢部高等学校)

第27回学術集会において発表される一般演題(口演・ポスター)の中から、学会長、座長、理事の推薦による「投稿奨励研究」の選定を行います。

この制度は、特に現職養護教諭による研究の推進をめざしたもので、選定された研究は学会誌への投稿時に査読費用7,000円が免除されると共に、掲載時には投稿奨励研究であることが明記されます。

昨年度の第26回学術集会は台風により2日目のプログラムがすべて中止となったため、残念ですが投稿奨励研究の推薦を行えませんでした。

第27回学術集会においては例年通り選定を行いますので、選定された方には10月下旬頃までに個別に連絡致します。その際は、ぜひお受けくださいますようお願い致します。また、座長の皆様には改めて、ご推薦のお願いをさせていただきます。

なお、学術集会における一般発表の「演題区分」は、養護教諭教育・養護実践の根拠となる学問体系の確立をめざして設定したものです。第27回学術集会ではこれまでの課題を整理し、より適切な領域区分を活用しています。このことについても会員の皆様からご意見をいただければ幸いです。

## 第27回学術集会での

### 「2018年度研究助成金研究」発表のご案内

学術担当理事 今富久美子

本学会の制度のひとつに、養護教諭教育（養護教諭の資質や力量の形成及び向上に寄与する活動）に関する研究の発展を目的として、会員の特色ある研究に対して一件10万円を助成する研究助成金制度があります。採択されるのは年間2件以内で、この制度に採択された場合、学術集会で研究成果の発表が義務付けられています。

第27回学術集会では、2017年度総会（金沢大学）において承認されました野田智子会員（埼玉医科大学）他による「肢体不自由特別支援学校養護教諭の養護実践にみる専門性の検討」の研究発表が、2日目の10月13日（日）10時50分から、A会場で行われます。

野田会員によると、肢体不自由特別支援学校に在籍する児童生徒の障害が重度重複化する傾向がある現状において、養護教諭の養護実践から職務に必要なとされる知識・技術を明らかにし、その専門性について検討することにより、肢体不自由特別支援学校養護教諭の教育プログラム構築の一助にすることを目的に研究を進められたとのこと。研究発表への参加をお待ちしております。

## 2019年度研究助成金研究の進捗状況（報告）

会員 角田智恵美（園田学園女子大学）

この度は2019年度研究助成金研究として採択していただき、ありがとうございます。研究テーマは、「くびき野式事例検討法の有用性と課題」（研究代表者：角田智恵美）としています。

本研究に取り組む背景として次のような状況がありました。養護教諭の自主研究会である「くびき野養護実践研究会」（以下、本会）では、数年にわたりインシデントプロセス法を基調とした事例検討会を実施してきました。事例検討や研修の中で、養護教諭が行う支援・対応方法をカテゴリーで示した「養護実践マトリックス」を活用するなど本会独自の「くびき野式事例検討法」を開発してきました。

本研究では、「くびき野式事例検討法」の活用方法について記載した「手引き」を養護教諭や養護教諭を目指す学生に配布後に質問紙調査を実施し、くびき野式事例検討法の有用性や課題を検討することを目的としています。質問紙調査は、養護教諭（学生を含む）500名程度を対象に行います。調査内容は、①属性、②本方法のメリット・デメリット、③使用アイテムについて、④事例検討会全体について、⑤活用の実際についてです。

現在、養護教諭への手引き及び質問紙の配布は終了し、回収が進んでいるところです。今後学生への配布・回収も進め、11月中には回収を終え、分析に入る予定です。

## 特別企画 新・私の実践と研究②

### 大学院での研究成果を 養護教諭としてどう生かすか

会員 尾崎奈実（大阪教育大学大学院）

私が養護教諭を目指したきっかけは、中学校時代の養護教諭との出会いから、誰かの心に寄り添える人でありたいと思うようになったことでした。私は中学校総合体育大会の前に怪我を負い、試合に出られなくなりました。その時はとても落ち込んでいましたが、同時にみんなに迷惑をかけたくないという思いもあり、自分の思いを誰にも話すことができませんでした。今思えば、誰かに聞いてほしいと言う思いがどこかにあったけれど、自分の気持ちを誰に話せばいいのか、話してもいいのかさえわからず、話すことができなかったのだと思います。そのような時、廊下ですれ違った養護教諭から何気なく話かけられました。私は、自分のことを気にかけてくれている人がいるのだと嬉しく思いつつも、明るくいつも通りに過ごしていたつもりだったので心模様を見透かされた心境でした。このような中学生での経験から、私も誰かの気持ちに気づき、そっと心に寄り添える人になりたいと思うようになりました。

養護教諭になるための進路を決定する時、子ども達の命を守るために医療の知識や技術が重要であることを知り、まず看護の学びを得ました。その後、養護教諭の教員免許状を取得するため、養護教諭特別別科に進学し、養護教諭の基礎について学びました。養護教諭特別別科は、看護師免許取得者を対象に1年で養護教諭1種免許状を取得するコースです。私は看護の学びを基盤にして1年間で養護教諭の基礎を学びましたが、自らの養護教諭としての知識や技術の不十分さを実感し、「もっと養護教諭について学びを深め、養護教諭として力をつけ、バランスの取れた養護教諭になりたい」という思いが高まりました。そこで、養護教諭に関連する研究を進めることができる大学院へと進学しました。

大学院では、心に寄り添える人を目指すため、心理学やメンタルヘルスの観点からも学びを深め、それを養護教諭に関連する研究に生かしたいと考えました。研究テーマを決める上で、私が中学生の時に様々な要因で相談したくても相談できないつらさを経験したこと、看護の学びにおいて入院中の子どもの表出しにくい心情を受容し援助することが難しいと実感したこと、自分から話しかけてこない子どもと少しずつ関わりをもつ中で子ども自らが話をしてくれるように変容していく養護実習での経験が連なり、思考を重ねました。そして、「どのような養護教諭であれば子どもは相談しやすいのだろうか」という関心となり、現在、相談しやすい養護教諭の特徴に関する研究を行っています。

研究を通して、子どもの心の健康課題が注目されてい

ること、特に思春期は身体の発育に心の発達が進まず誰かが不安定な気分になりやすいこと、悩みを抱える子ども達も多くなっていることを改めて理解しました。また、思春期の子どもは、その相談相手として友人を選ぶ人が多い一方、問題を抱えていても相談できない子どももいることがわかりました。心理的負担がある子どもに対して養護教諭は、常にメンタルヘルスの要因を念頭におき、いち早く子どもの問題に気づく必要があります。そのため、相談しやすい養護教諭の特徴の研究を推進することによって、養護教諭としてどのように思春期の子どもの相談を引き出すか、健康相談の充実を図るかに生かすことができると考えています。

漠然と「心に寄り添える養護教諭になりたい」と思っていた私は、大学院での研究を通して「心に寄り添うには具体的にどういう養護教諭としてあるべきか」を考えるようになったと思っています。そして、研究を実践につなげて、私が養護教諭との出会いに救われたように、今度は私が養護教諭として子ども達を救いたいと思います。

来春、養護教諭になります。今までのように、学びを積み重ねていくことで、今後も自分の養護教諭像に近づいていけるよう努力していきます。

### <寄稿> 恩師からのメッセージ

あなたを待っている子どもたちがいます

伊藤武彦 (岡山大学大学院教育学研究科)

尾崎さんが元気に修士課程の学びを深めておられる様子を嬉しく、また、まぶしく感じました。

養護教諭特別科は看護師免許を取得された方のための集約された1年課程ですから、本学在学中は目の前のことに対応するので精一杯で、実習など子どもと向き合う中で、「寄り添うこと」の意味などについて深く考える時間がなかったかもしれないですね。尾崎さんが大学院に進学され、指導者のもとでゆっくりじっくりと考えを深められる機会に恵まれて本当に良かったと思います。

米年度はいよいよ実践の場に出られるとの由、学校の教職員、保護者、三師等の専門家と連携・協働しながら子ども達の心身の課題に寄り添っていく中で、想定外のこと戸惑うこともあるかもしれませんが、そんな時もあなたは孤独ではなく、周囲の仲間がいて、また出会ってきたたくさんの同じ志を持った人々があなたを見守っていることを忘れないでください。そして一人の学校医の立場から言いますと、子どもの心身のことで判断に困ったときは遠慮なく学校医に相談し、そのような場面を通して、あなた自身にも寄り添ってくれる仲間を感じながら実践を深めてください。応援しています！

## 学会誌への投稿募集

編集委員会事務局 齊藤ふくみ (関西福祉科学大学)

編集委員会では、養護教諭教育(養護教諭の資質や力量の形成及び向上に寄与する活動)に関する研究とその発展を目的とする本学会の理念の実現を目指して、会員の皆様から投稿いただいた論文が学会誌掲載に至るまでを支援しています。

学会誌は会員の皆様の論文投稿によって支えられています。是非、会員の皆様が取り組んでおられる研究、例えば学術集会において発表された個人研究や共同研究、または修士論文、博士論文などの他に、各地区で開催されている養護教諭研究会での研究を論文としておまとめになりご投稿ください。

本学会誌創刊号に、初代理事長の堀内久美子氏は「養護教諭教育に関するさまざまなテーマについて、先行研究の確認、研究方法の検討や実践研究の交流などを行い着実に成果を生み出していくことが期待されています。」と述べています。本学会誌は、創刊号から第22巻第2号までの掲載論文数は178件となり、養護教諭に関する研究知見の蓄積と研究交流の場としてその役割を果たしてきています。

筆者は、いくつかの地区の養護教諭研究会に参加させていただき研究発表を伺う機会があります。その時に、現職養護教諭の方々の水準の高い実践研究に感心することが多くあります。研究会で配付される冊子を手にして、これらの研究物が、参加者および関係者しか目にするのができないことも大変残念に思いました。研究が論文として学会誌に掲載され発刊されることによって、論文検索エンジンに乗り、全国の養護教諭関係者をはじめ、関心を持つ人々が目にするができます。各地区の養護教諭研究会において会員の皆様は、学会誌の紹介と投稿をお声かけいただければと思います。現職養護教諭の方々の実践研究の交流の輪が広がっていくことを期待します。

編集委員会事務局より、投稿いただく際に特にお願いしたい3点を以下に記します。

- ①投稿者(共著者含む)はすべて本学会会員であること。
- ②投稿論文は未発表のものに限ること。
- ③学会誌の巻末に掲載されている「投稿規定」「投稿原稿執筆要領」「論文投稿のしかた」を熟読のうえ、十分に推敲されてご投稿願いたいこと。

なお、投稿締め切りは(年間を通じて随時受け付けていますが)、目安として第1号は3月末、第2号は9月末です。

編集委員会事務局は、2019年4月より下記に移転しました。投稿に関するお問い合わせ等こちらにお願い致します。

<編集委員会事務局>

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1  
関西福祉科学大学健康福祉学部健康科学科  
齊藤ふくみ 宛

TEL 072-947-2127 FAX 072-978-0377

E-mail f-saito@tamateyama.ac.jp

## 日本養護教諭関係団体連絡会の 2019年度の活動状況について（報告）

理事長 後藤ひとみ（愛知教育大学）

今年度の定例代表者会議は、6月22日（土）15時～17時半、女子栄養大学駒込キャンパスにて開催し、六団体全てから計10名の代表者が出席しました。下記は議事の概要です。

### ■報告事項

1. 代表者の交代と新名簿の内容では、全国養護教諭連絡協議会の会長交代に伴い、村井前会長が担当していた監事の残り任期を浅野新会長が務めることを確認した。
2. 各団体の活動状況と連絡会の取組への要望では、  
①日本養護教諭教育学会：『養護教諭の専門領域に関する用語の解説集＜第三版＞』を発行。「養護実践基準」を検討中、全養連を介して現職養護教諭の意見を聞きたい。  
②全国養護教諭連絡協議会：研修会、研究協議会、調査研究等の事業を実施。複数配置の要望等は文部科学省財務課にも働きかけているが動かない。  
③日本養護教諭養成大学協議会：FD検討委員会で教職実践演習の調査を実施。年度内完成をめざして養護教諭養成モデル・コア・カリキュラムを検討中。  
④日本教育大学協会全国養護部門：研究委員会が行った根拠に基づく養護教諭の職務に関するガイドライン作成をめざした文献研究を報告書にまとめた。  
⑤日本健康相談活動学会：8月にいわき市で夏季セミナー、来年2月に静岡県で学術集会を開催。2018年度から学会認定資格「子ども健康相談士」の制度を開始。  
⑥全国私立大学・短期大学（部）養護教諭養成課程研究会：年1回の研究協議会開催、2年に1冊の報告集発行。会員校の減少が課題。  
※これらの情報交流を受けて、「複数配置の要望理由や資料提出の切り口を現代的なものに変えていく」、「教育の質の評価規準を考える際、教員育成指標や現場の意向も取り入れる」、「教大協の報告書の内容を共有する」などの意見が出されました。
3. その他、4月13日に、総理主催の「桜を見る会」があり、本連絡会は2組が招待されて4名が参加した。

### ■審議事項

1. 2018年度総括、並びに2. 2018年度会計報告及び監査報告は、原案通りに承認された。
3. 2019年度事業計画として、これまでの要望書と各団体の要望書との摺り合わせを行い、文科省等への新たな要望書を作成して要請活動を行うこと、必要に応じて調査研究を行うことが承認された。
4. 2019年度予算では、調査研究を行う場合は予備費から支出するものとし、原案通りに承認された。なお、以前の申し合わせにより、全国私立大学・短期

大学（部）養護教諭養成課程研究会の会費は徴収した上で会議参加費等として支援することを確認した。

5. その他、代表者会議の案内文書は各団体で適宜活用するよう難形を配信することにした。

※上記のような審議に基づき、新たな要望書作成を行っています。完成しだい、文科省の担当課や文教系国会議員等への要請活動を行います。連絡会の取組に関するご意見・ご要望があれば、学会事務局へご連絡ください。

## 事務局より

事務局長 圓岡和子（愛知教育大学附属高等学校）

- ★『養護教諭の専門領域に関する用語の解説集＜第三版＞』を500円（送料別）で購入できます。学術集会の本部受付でも、過去の学会誌と共に販売します。
- ★学術集会の本部受付で、年会費を納入できます。まだ納入されていない方はご利用ください。

なお、年会費を電信扱いで入金される時は、氏名その他に会員番号も入力してください。所属先のみ記載では会計処理できない場合があります。年会費を入金済みであるにもかかわらず請求書が届いた場合は処理されず保留となっていますので、お問い合わせください。

- ★何かお気づきの点がありましたら、下記学会事務局までメールかFAXにてお知らせください。

<学会事務局>

E-mail JAYTEjimu@yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp  
TEL & FAX 0566-26-2491

## 編集後記

横浜市は日本を代表する大都市。きっと素敵な夜景を楽しんでいただけることと思います。第27回学術集会では、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

この度、ハーモニーは第80号の発行を迎えました。特別企画「新・私の実践と研究②」では、養護教諭を志す学生と恩師の温かい交流を掲載することができました。今後も、ハーモニーでは会員の皆様の交流を図り、養護教諭教育の思いを紡いでいきたいと思っています。（平井美幸）

